「血管内大細胞型B細胞リンパ腫が疑われランダム皮膚生検が実施された症例の後方視的解析」研究へのご協力のお願い

当院では、診療・教育のほか、社会的な使命として様々な疾患の病態解明と治療法に関する研究を行っております。この研究は、悪性リンパ腫の中でも稀少でかつ、診断するのが難しいとされる血管内大細胞型B細胞リンパ腫（IVLBCL）の患者さんの診断のために当院で行われているランダム皮膚生検という検査の診療の上での意義、有用性について、過去に遡って調べるものです。

本研究は国立病院機構京都医療センターにおいて、研究責任者である血液内科の藤田晴之のもとで行われます。研究対象は京都医療センターを受診され、血管内リンパ腫が疑われ2020年1月から2024年12月末日までにランダム皮膚生検を受けられた患者さんです。研究期間は2026年3月31日まで予定されています。本研究は、京都医療センターの倫理委員会の承認を得て行われます。研究対象者の、ランダム皮膚生検の結果と臨床情報を電子カルテの中から拾い上げて照らし合わせ、これらの関連について解析します。

研究の成果が専門の学術集会や学術雑誌に発表されることがありますが、あなたのプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報（氏名など）が当院の外部に公表されることは一切ありません。

ランダム皮膚生検は、確定診断のために保険診療で行われています。これ以外に患者さんに費用負担はございませんが、報酬もございません。もしご自分が本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究の対象となることに同意されない場合は、対象者から除外させていただきますので研究代表者までご連絡ください。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどで、あなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。もちろん、本研究の対象となることに同意されない場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることは一切ありません。

なお、ご不明の点がございましたら、いつでも研究責任者　京都医療センター　血液内科　藤田晴之（電話 075-641-9161）までお問い合わせください。本研究の研究計画書は、ご希望に応じて閲覧することができますので、ご希望される場合はご連絡ください。